

今後の下方地区地域支え合い活動について

20161122

□ 住民参加の助け合い活動の実践について

→ とりあえず、公営住宅を抱える浜里町・平松町に限定して活動を実施する。

1) ゴミ捨て弱者への支え合い活動

→ 小宿っ子お助け隊? (ゴミ捨て代行)

(方法)

- ・ 小宿小・下方地区のスポーツ少年団等 (子どもたち) に、公営住宅等に居住していてゴミ出しに不自由を感じている独居高齢者等のゴミ捨てを代行してもらう。
- ・ 少年団毎に担当する高齢者を決める
- ・ 燃やせるごみ・燃やせないごみのごみ収集日の朝 (7時～7時15分) の登校前に、担当する高齢者宅を訪問し、ごみ袋を所定のごみ捨て場へ捨てる。
- ・ 有償ボランティアとし、利用された高齢者から1回50円を徴収する。後日、事務局が徴収する。
- ・ 徴収した利用料は、事務局手数料を差し引いて、スポーツ少年団等に活動費として寄付する。

<目的・メリット>

- ◇ 高齢者にとって → 不自由さを感じているゴミ捨てをしてもらえる。
子どもたちと触れ合える。
- ◇ 子どもたちにとって → ボランティア精神、地域支え合いの意識を醸成できる。
- ◇ 親にとって → 子どもたちが高齢者や地域に関わることによって、親も地域での支え合いに関わるきっかけになる。
- ◇ スポーツ少年団にとって → スポーツ少年団の活動費が増える。
- ◇ 地域にとって → 地域力を高められる。

2) 高齢者の交流の場づくり

→ モーニングカフェ (毎月第4日曜日、浜里集会場、一人200円)
(課題) 中心となって活動してくれる人を探すのが難しい。

3) 買い物弱者への支え合い活動

タイヨー朝仁店にバスやタクシーで行かなければならない
→ 移動販売、夕方限定の売店設置、買い物代行
(課題) 事業の管理がかなり煩雑ではないか。

4) 子供の夕方の過ごし方・食の大切さ

夫婦共働き、母子・父子家庭、鍵っ子、子ども一人での夕食
→ 子供食堂 (有償ボランティア)、学習教室 (有償ボランティア)
(課題) 中心となって活動してくれる人を探すのが難しい。

5) 人生の先輩方の技術の伝達

→ 昔あそび教室の開催 (毎月第3土曜日、無償ボランティアやデイ利用者を講師)
(課題) 中心となって活動してくれる人を探すのが難しい。